

【報告】令和7年度第2回柏市保健衛生審議会母子保健部会

1 日時

令和8年2月17日(火) 午後3時から午後4時15分

2 場所

柏市中央保健センター1階多目的ルーム(アリーナ)

3 出席者

(1) 委員 11名

(2) 柏市 健康医療部：2名，福祉部：1名，こども部：8名，教育委員会1名
事務局(委託業者含む)

4 議事

(1) 柏市母子保健計画の最終評価について

(2) 柏市母子保健事業に関する基本方針及び評価指標について

→母子保健部会委員の皆様よりご意見(第1回母子保健部会+第1回部会後に2回)を
いただいて作成した修正案を踏まえ、第2回母子保健部会にて、一部修正のうえ
ご承認いただきました。

■ 委員よりいただいた主なご意見と修正内容

	いただいたご意見	修正内容
最終評価	妊娠届出時の全数面談や産科・精神科・小児科等とのネットワーク構築など、10年間の母子保健事業の取り組み成果が38指標の達成率（数値）に表れていないと感じる。	38指標の達成率だけでなく、10年間の取り組みをまとめた「総括」を明記しました。
	最終評価の基準と評価に違和感がある。例えば出産に関する満足度は高いのに目標値に達していないとされ、否定的な印象を受ける。	これまでの取り組みの成果や、指標の数値についての説明を加えました。
	「変わらない」や「悪化している」など、評価結果を市民が見たときに、状況が悪化していると誤解しないような表現にしてほしい。	評価基準の表現を修正しました。 例：「変わらない」→「策定時より改善又は横ばい」 「悪くなっている」→「策定時より低下」
基本方針（評価指標）	柏市母子保健計画で活用してきたヘルスプロモーションの概念を基本方針にも記載してほしい。	最終評価及び基本方針に、ヘルスプロモーションの理念に基づく評価の説明を追加しました。
	市民のヘルスリテラシーを高める観点から「2 情報提供・相談体制の充実を図ります。」のタイトル等を変更した方がいいのではないかと。	タイトル名は第三期子ども・子育て支援事業計画に準じているため、ヘルスリテラシーに関する説明を追加しました。
	障がいのある子どもへの支援についての指標や取り組みを増やしてほしい。	主な取り組みを追加するとともに、「参考にする指標」として「幼児健康診査時に発達相談をおこなった児の割合」を追加しました。
	指標「地域のつどい等に参加している者の割合」は削除とあるが、地域とのつながりは今後も大切にしていきたい。	「参考にする指標」として、地域子育て支援拠点事業及び母と子のつどい（赤ちゃんのつどい）の利用者数を確認することとしました。